

鉄道なるほど新聞

2023年7月、犬山市の名鉄犬山検査場において
みのりのなりきり体験が行なわれました。
このイベントでは、鉄道で働く人が、どのような事
をしているのか、知ることが出来ました。

電車の運転台 昔と今の違い

まずは運転席に入って、
電車の運転について説
明がありました。

昔の車両にはレバーが
2つあり、左ではマスコ
ン(アクセル)、右手は
ブレーキになっています。
新しい車両にはレバー
が1つしかなく、手前に

みのり(見て乗ってリアルに)のなりきり体験



昔の車両(上)と新しい車両(下)の運転台

引くとアクセル、奥に倒
すとブレーキがかかるよ
うになっています。

そして、今の車両には
ディスプレイがあり、乗
っているお客さんの人数
などが、リアルタイムで
分かるようになっていま
す。

縁の下の力持ち 保守部門

鉄道会社では、駅係員
や乗務員のほか、さまざま
な部署の係員が協力し
て安全を支えています。
保守部門では、どのよ
うなお仕事をしているの
でしょうか？

土木部門では、レール
やマクラギのゆがみや減
り方を確認して、安全に
線路が使えるようにして

います。

電気保守では、信号や
踏切設備の点検をしたり、
会社全体で使う電気を安
定して送り出しています。
車両保守では、電車を
定期的に清掃したり、定
期的に検査を行い、部品
を交換して安全に運転で
きるようにチェックをし
ています。

制服に身を包み 車内放送体験

電車に乗っていると、
車掌さんのアナウンスが
聞こえてきます。

車掌さんは、お客さん
に安心して電車の乗って
もらえるように、次の駅
や、乗りかえのアナウ
ンス、また「ドアを閉め
ます。ご注意ください」な
どの注意かんきのアナウ
ンスをしています。

うまくアナウンスをす
るコツは、大きな口で、
ゆっくり発声することだ
そうです。

しかし、僕は緊張して
少し早口になってしま
いました。



車内放送体験の様子

★この部品が何か分かりますか？★

こちらの部品は制輪子
(ブレーキシュー)とい
って、電車を止めたり減
速をする場合に、車輪に
このブレーキシューを押
し当てることにより、車
輪の回転を遅くします。

ブレーキシューは主に
鉄で出来ていて、新品の
状態だと15センチほど

座席の下に、こんな秘密が



普段、私たちが座つ
ている座席の下には、
非常用のハシゴが収納
されています。
万が一、事故などで
電車が止まってしまっ
た時に、このハシゴを
使って線路に降ります。
こんなところにハシ
ゴがあるなんて、知り
ませんでした。



座席の下に収納されている非常ハシゴ

カーブの駅での安全確認方法

電車のドアの開け閉め
は、1番後ろに乗ってい
る車掌さんが行なってい
ますが、8両編成の場合、
列車の長さが150メー
トル以上になります。

さらに、ホームがカーブ
で曲がっていると、お客
さんの確認がしにくくな
ってしまいます。

そんな時は、ホームに
旗を持った係員が立ち、
ホームの安全確認をしま
す。

まず、1番前に立って

いる係員が、乗り込むお
客さんがいないことを確
認すると赤い旗をたたん
だ状態で上に挙げます。

それを見て、となりの
係員は近くのドアにお客
さんがいないことを確認
し、同じように赤い旗を
挙げます。

最後に、1番後ろの車
掌さんが、赤い旗が挙が
っているのを確認してド
アを閉めるスイッチを操
作します。

もし、お客さんがかけ
込んで乗ってきた場合は、
たたんだ赤い旗を広げま
す。これが「ドアを閉め



新品のブレーキシュー



ホームで安全確認を行う係員

今回、みのり(みて、
きいて、リアルに)のな
りきり体験イベントに参
加して感じたことは、電
車を動かすためには、運
転士さんや車掌さんだけ
ではなく、駅員さんや電
車を整備する人たちなど、
大勢の人の力が必要だと
いう事を知りました。

今度電車に乗るときに
は、鉄道で働く人の事を、
もっと観察してみたいと
思いました。